

ポイント

相対度数とは

確率と相対度数は ほとんど"同じ"だけど、

ちがいは、 確率 = ただの予想

相対度数 = リアルな実験系結果

同じ実験や観察を数多く繰り返すほど、
そのことからの起こる割合が 確率(P)に近づく。

(例題) 次のように、100円硬貨を1000回投げる実験をして、
「表」の出た回数を調べた。

投げた回数(回)	10	100	200	400	600	800	1000
表の出た回数(回)	4	55	104	206	294	396	501
表の出た割合	0.400	0.550	①	0.515	0.490	0.495	②

$$\text{表の出た割合} = \frac{\text{表の出た回数}}{\text{投げた回数}}$$

$$\textcircled{1} \quad \frac{104}{200} = \frac{52}{100} = 0.520$$

$$\textcircled{2} \quad \frac{501}{1000} = 0.501$$

表の出た割合は ほぼ"同じ"で、
投げた回数が多いほど、
その数字は 0.5 に近づく。

$$\frac{1}{2}$$